



高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ【女子】 最終節 第13日

開催日時 10月11日(土) 会場 コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケースタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00	立命館大学ホリーズ	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
第2試合 11:40	天理大学ベアーズ	0	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	2	山梨学院CROWING GORIES
第3試合 13:20	南都銀行SHOOTING STARS	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	4	ソニーHC BRAVIA Ladies
第4試合 15:00	コカ・コーラウエストレッドスパークス	2	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクライン Orange United

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

勝点 11
3 勝 2 分 8 敗

勝点 7
2 勝 1 分 10 敗

<得点>

東海学院大：11分清水

:

<戦評>

日本リーグ最終節第一試合は学生同士の対決で口火を切った。序盤より立命館大はMF#6畑野、東海学院大はMF#6佐々木を中心に一進一退の攻防を繰り広げる。膠着状態の中11分、東海学院#9清水が密集を抜出し先制ゴールを決めた。その後流れは東海学大優勢となるが、決定機を創り出せず1-0のまま前半を折り返した。後半は立命館大が意地を見せ激しい攻撃をしかけるが、東海学院大の堅い守備を打ち崩すことができず、学生対決は東海学院大に軍配が上がった。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	藤村 利通
ジャッジ	富田 恭平・山崎 泰敬		山田 恵美

第2試合

天理大学ベアーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 2 山梨学院CROWING GRORIES

勝点 1
0 勝 1 分 12 敗

勝点 13
4 勝 1 分 8 敗

<得点>

山梨学院大：49分藤井、50分高田

<戦評>

第2戦も学生対決。互いに激しいプレッシングで譲らぬ攻防を見せる。先にチャンスを作ったのは山梨学院大。しかし、決定打を出すことができず前半は両チーム無得点のまま終了。後半天理大も果敢に攻撃をしかけるが、均衡を破ったのは49分山梨学院大。PCより#20藤井がドラッグシュートで先制。勢いに乗った山梨学院大は立て続けにPCを取得し#2高田がバリエーションのタッチシュートを決め天理大を突き放す決定打をなつた。試合はそのまま終了。2-0で山梨学院大が勝ち点を13に伸ばした。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	安岡 裕美子
ジャッジ	奥田 泰之・吉井 貴子		山口 千恵美

第3試合

南都銀行SHOOTING STARS 0 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 4 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 26
8 勝 2 分 3 敗

勝点 40
13 勝 1 分 0 敗

<得点>

ソニー : 22分義浦、32分中島、45分中島、51分日隈

<戦評>

現在無敗でリーグトップのソニーに3位の南都銀行が挑む一戦。立ち上がりからスピードある展開の試合となったが、徐々にソニーの早い展開に南都がプレスで応戦するという様相となっていた。次第にソニーがサイド攻撃からチャンスを創り、22分#18永井がライトバックライン際を突破しパス#12義浦が決めて先制となった。続いての得点はまたもソニー。32分#10中島がレフトからのセンターリングからダイレクトパスを受けタッチシュートを決めた。後半もソニーの勢いは衰えず、45分には#10中島、51分には#17日隈とソニー得意のライトからのセンターリングの形から追加点をあげ、4-0で快勝。明日の最終戦へ弾みをつけた。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	富田 恭平・山崎 泰敬		藤原 真由美

第4試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 2 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクライン Orange United

勝点 35
11 勝 2 分 0 敗

勝点 21
7 勝 0 分 6 敗

<得点>

コカコーラウエ: 10分新井、29分小野

グラクソ :

<戦評>

地元コカ・コーラウエストレッドスパークスのセンターパスにより試合が始まった。開始早々激しい攻防が続く中、前半10分コカ・コーラウエストMF#18ヤナのセンターリングを#9新井がタッチシュートを決め先制点を得る。再び激しい攻防が続く中29分、コカコーラウエスト#8小野がサークル中央からシュートを決め、2-0となり、そのまま前半が終了した。後半に入りグラクソの反撃が始まる。速いパス回しで攻め立てるもコカ・コーラウエストの堅い守りに阻まれシュートチャンスを得ることが出来ない。中盤での攻防が続く中コカ・コーラウエスト#9新井がPSをし追加点のチャンスを得るも、グラクソ#18大家のファインセーブにより追加点のチャンスを逃す。その後も両者一進一退の攻防が続くが、点を決めることが出来ず2-0でコカ・コーラウエストが勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	加藤 直美	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	奥田 泰之・吉井 貴子		壽山 由樹